

SHINKIN BANK

BANK

BANK

SHINKIN BAN

DATE

だてしん

半期ディスクロージャー誌

平成26年4月1日～9月30日

KIN BANK

SHINKIN BA

SHINKIN

IN BANK

SHI

DATE

伊達信用金庫

だてしん

半期ディスクロージャー

当金庫の平成26年9月期(平成26年4月1日～平成26年9月30日)における半期情報についてお知らせいたします。

なお、以下に掲げる開示項目は、当金庫任意の情報として開示しております。また、各計数については会計監査人による監査を受けておりません。

預金人格別残高				
(単位:百万円)				
	平成26年 3月末	平成26年 9月末	増減額	
個人預金	127,159	126,969	△	190
法人預金	17,057	19,304		2,247
金融機関預金	118	165		47
公金預金	10,111	13,963		3,852
合計	154,447	160,404		5,957

貸出金業種別残高				
(単位:百万円)				
	平成26年 3月末	平成26年 9月末	増減額	
製造業	1,103	1,124		21
農業、林業	35	58		23
漁業	7	6	△	1
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—		—
建設業	4,196	4,440		244
電気、ガス、熱供給、水道業	—	—		—
情報通信業	37	24	△	13
運輸業、郵便業	1,548	1,706		158
卸売業、小売業	2,496	2,477	△	19
金融業、保険業	1,869	1,856	△	13
不動産業	7,995	8,235		240
物品賃貸業	284	244	△	40
学術研究、専門・技術サービス業	40	36	△	4
宿泊業	1,540	1,500	△	40
飲食業	504	558		54
生活関連サービス業、娯楽業	974	962	△	12
教育、学習支援業	12	11	△	1
医療、福祉	1,539	1,686		147
その他のサービス	1,258	1,253	△	5
小計	25,444	26,184		740
地方公共団体	18,390	17,484	△	906
個人	14,140	14,048	△	92
合計	57,976	57,716	△	260

損益の状況		
(単位:百万円)		
	平成26年3月期	平成26年9月期
業務純益	580	304
経常利益	1,231	606
当期純利益	1,143	603

金利リスクに関する事項			
(単位:百万円)			
運用勘定			
区分	金利リスク量		
	平成26年 3月末	平成26年 9月末	
貸出金	370	358	
有価証券	522	539	
預け金	27	4	
コールローン等	—	—	
その他	—	—	
運用勘定合計	920	902	

調達勘定			
(単位:百万円)			
区分	金利リスク量		
	平成26年 3月末	平成26年 9月末	
定期性預金	△ 25	△	23
要求払預金	△ 15	△	16
その他	△	△	—
調達勘定合計	△ 40	△	40

(単位:百万円)

銀行勘定の金利リスク		
(単位:百万円)		
	880	862
銀行勘定の金利リスク	880	862

- (注) 1. 銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例えば、貸出金、有価証券、預金等)が、金利ショックにより発生するリスク量を見るものです。当金庫では、金利ショックを99%タイル又は1%タイル値として銀行勘定の金利リスク量を算出しております。△
2. 要求払預金の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がなく、預金者の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、普通預金等の額の50%相当額を2.5年としてリスク量を算出しております。
3. 銀行勘定の金利リスクは、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算出しております。
△ △
銀行勘定の金利リスク(862百万円) = 運用勘定の金利リスク量(902百万円) + 調達勘定の金利リスク量(△40百万円) △ △

金融再生法開示債権および同債権に対する保全状況

(単位:百万円)

区 分	開示残高 (A)	保 全 額 (B)	担保・保証等による回収見込額 (C)	貸倒引当金 (D)	保全率(%) (B)/(A)	引当率(%) (D)/((A)-(C))	
金融再生法上の 不良債権	平成26年3月末	6,067	5,563	2,983	2,579	91.69	83.66
	平成26年9月末	5,857	5,412	2,862	2,549	92.39	85.11
破産更生債権及び これらに準ずる債権	平成26年3月末	96	916	443	472	100.00	100.00
	平成26年9月末	88	828	380	447	100.00	100.00
危険債権	平成26年3月末	4,975	4,502	2,406	2,095	90.50	81.59
	平成26年9月末	4,664	4,447	2,354	2,092	91.41	83.35
要管理債権	平成26年3月末	175	144	133	11	82.23	26.61
	平成26年9月末	64	137	127	9	83.08	25.11
正 常 債 権	平成26年3月末	8,422					
	平成26年9月末	52,433					
合 計	平成26年3月末	8,490					
	平成26年9月末	8,291					

(注) 金融再生法に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」および「正常債権」は総与信額で開示しておりますが、「要管理債権」は貸出金のみで開示しております。なお、総与信額は貸出金、貸付有価証券、外国為替、債務保証見返、未収利息、仮払金の合計額です。

有価証券の時価情報

(1) 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	平成26年3月末			平成26年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
		時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	7,999	8,028	29	7,999
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	地 方 債	31,105	32,318	1,212	35,916	37,346	1,430
	社 債	97	316	219	98	314	16
	そ の 他	258	3,233	2,974	267	3,249	281
	小 計	4,361	43,895	1,534	4,181	48,920	1,738
	時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	地 方 債	298	2,293	4	98	397	1
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	117	1,762	5	175	1,753	31
	小 計	415	4,055	6	284	2,151	33
合 計	6,477	47,951	1,475	49,365	51,071	1,705	

(注) 1. 貸借対照表計上額は、取得原価または償却原価です。 2. 時価は、上半期末前一週間(5営業日)の市場価格の平均に基づいて算定された額により計上したものです。
3. 上記の「その他」は、外国証券等です。 4. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(2) その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	平成26年3月末			平成26年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
		貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	債 券	893	856	37	975	934	41
	国 債	2	27	0	9	29	0
	地 方 債	—	1	0	—	1	0
	社 債	84	826	3	93	902	41
	そ の 他	251	816	43	1734	1,551	182
小 計	245	1,673	47	2709	2,486	223	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	—	—	—	—	—	—
	債 券	2	23	0	—	—	—
	国 債	—	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	2	23	0	—	—	—
	そ の 他	40	741	0	—	—	—
小 計	64	765	0	—	—	—	
合 計	2,910	2,438	47	2,709	2,486	223	

(3) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位:百万円)

	平成26年3月末	平成26年9月末
子 会 社 株 式	10	10
非 上 場 株 式	9	9
組 合 出 資 金	51	13
合 計	71	32

(注) 1. 貸借対照表計上額は、上半期末前一週間(5営業日)の市場価格の平均に基づいて算定された額により計上したものです。
2. 上記の「その他」は、外国証券等です。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

自己資本の構成に関する事項

(単位:百万円)

項 目	平成26年3月期		平成26年9月期	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	4,737		5,339	
うち、出資金及び資本剰余金の額	3,165		3,163	
うち、利益剰余金の額	1,648		2,176	
うち、外部流出予定額(△)	75		-	
うち、上記以外に該当するものの額	△ 1		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	193		183	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	193		183	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	4,930		5,523	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	6	-	6	-
うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	6	-	6	-
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
前払年金費用の額	-	-	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-	-	-
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	90	-	-	-
特定項目に係る10%基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る15%基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	97		6	
自己資本				
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	4,833		5,517	
リスク・アセット等(3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	39,274		39,721	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△ 1,038		△ 1,085	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	-		-	
うち、繰延税金資産	-		-	
うち、前払年金費用	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△ 1,038		△ 1,085	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	4,046		4,046	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	43,321		43,767	
自己資本比率				
自己資本比率((ハ)/(ニ))	11.15%		12.60%	

(注)自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから新告示に基づく開示を行っております。
なお、当金庫は国内基準を採用しております。

地域の発展・充実、お客様へのサービス向上に向けた取組み

地域経済の発展に向けた取組み

■地域経営支援チームの新設

4月1日、当金庫の経営理念である「地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献する。」を具現化するため、営業グループ内に、情報収集と発信、地域経営サポートを目的とする「地域経営支援チーム」を新設しました。外部連携等を活用した経営支援、セミナー等を通じた情報発信、地場産業である農業の6次産業化に向けた取組み等を通じ、西胆振の地域活性化に取組んでまいります。

■伊達商工会議所、壮瞥町商工会、洞爺湖町商工会、豊浦町商工会との産業振興連携協定の締結

6月16日に伊達商工会議所、7月28日には壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町の3商工会と「産業振興連携協力に関する協定書」を締結しました。今後、産業振興の分野において、包括・一体的に連携し、相互の人的・知的資源等を効果的に活用することで、地域経済の発展ならびに地域社会の活性化を図ってまいります。



■(独)中小企業基盤整備機構北海道本部との業務連携・協力に関する覚書の締結

9月24日、当金庫は(独)中小企業基盤整備機構北海道本部と「業務連携・協力に関する覚書」を締結しました。本提携は、両者の持つ機能や情報および人材を活かした連携により、相乗効果を発揮し、地域の活性化を図ることを目的としています。



■(独)住宅金融支援機構との協調融資に関する協定の締結

6月10日、当金庫は、(独)住宅金融支援機構と「サービス付き高齢者向け住宅に対する融資における協調融資に関する協定書」を締結しました。今後、需要が見込まれるサービス付き高齢者向け住宅に対し、当金庫と同機構の協調融資による支援を行ってまいります。

■「西胆振地域広域連携記念セミナー」の開催

10月23日、当金庫、伊達商工会議所および壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町の3商工会主催の「西胆振地域広域連携記念セミナー」を開催しました。「地域活性化とブランド戦略」と題する(独)中小企業基盤整備機構北海道本部チーフアドバイザー 牛嶋和夫氏の講演、および「西胆振地域の活性化と発展に果たす広域連携の役割」をテーマとしたパネルディスカッションが行われました。

■総代向け経営セミナーの開催

6月17日、第65回通常総代会終了後に、信金中央金庫 地域・中小企業研究所 藤津主任研究員を講師に招き、「勝ち残る元気な経営者を目指して」と題する経営セミナーを開催しました。中小企業を取り巻く様々な環境の変化や目指すべき経営のあり方、正しい現状認識による成功事例等が示され、総代の方々から高い評価をいただきました。

地域社会の充実に向けた取組み

■献血協力および

「日本赤十字社 金色有功章」の受章



7月10日、当金庫は「日本赤十字社 金色有功章」を受章しました。これは、地域のお客様のご協力もあり、32年間64回にわたる献血活動が評価され、表彰に至ったものです。9月にも本店駐車場で献血活動を実施しており、今後も当金庫は地域のお客様とともに、社会貢献の一環として献血活動を継続してまいります。

■「信用金庫の日」に合わせた清掃活動への参加

6月15日の「信用金庫の日」を迎えるにあたり、5月10日に洞爺湖畔の清掃を、6月15日には伊達市内の国道37号線沿いの花壇の植栽ボランティアを実施し、延べ74名の役職員が参加しました。

■地元のお祭り、イベントへの参加

当金庫は地域貢献活動の一環として、地元のお祭りや各種イベントに参加しており、本年度は以下の行事に参加しております。

・7月19日、「サマーフェスタ2014in洞爺湖」に合わせて実施された「目指せ一周+ギネス!ぐるっと洞爺湖マイムマイム」に、役職員やその家族も含め78名が参加しました。

・8月2日、3日の第40回伊達武者まつりには、6年ぶりに復活した甲冑を着て伊達市内を練り歩く武者行列に参加する等、2日間で延べ80名の役職員が参加しました。

・9月13日、14日、洞爺湖周辺の様々なコースを2日間かけて自然を楽しみながら歩く第27回北海道ツーデーマーチに、役職員32名が参加しました。

地域のお客様へのサービス向上に向けた取組み

■振込手数料の金額区分見直し

4月より、振込手数料の金額区分を3万円から5万円へと見直しました。これまでよりも3万円以上5万円未満の振込みがご利用いただきやすくなっております。

■インターネット申込可能な個人ローン商品の拡充

5月1日、お客様の利便性向上に向けて、インターネットやスマートフォンからの申込が可能な商品として、カーライフプラン・教育プラン・リフォームプラン等を追加しました。

■「職域サポート制度」の制定

10月10日より、従業員の方々の福利厚生に活用いただけるよう、各種ローン金利優遇をはじめとする「職域サポート制度」を開始しました。お取引先事業所と当金庫との契約により、従業員の方々にご利用いただけます。

■「しんきんファミリーサポート定期積金」の発売

11月4日より、「しんきんファミリーサポート定期積金」を発売しました。ご契約いただいたお客様に、電話相談等の健康関連サービスや、契約施設の利用料割引等のライフサポートサービスをご提供いたします。

平成26年度だてしんトピックス

- 4月
 - ☑「地域経営支援チーム」の新設
 - ☑☑☑ 振込手数料の金額区分見直し
 - ☑☑☑ 道内信用金庫業界による大規模災害発生時の相互支援体制の整備
- 4月～
 - ☑☑☑ 住宅ローンおよびリフォームローンキャンペーンの実施

- 5月
 - ☑☑☑ インターネット申込可能な個人ローン商品の拡充
 - ☑☑☑ 「信用金庫の日」に合わせた、洞爺湖畔清掃への役職員参加

- 6月
 - ☑☑☑ 「信用金庫の日」に合わせた、花壇の植栽ボランティアへの参加
 - ☑☑☑ 第65回通常総代会および総代向け経営セミナーの開催
 - ☑☑☑ 伊達商工会議所との産業振興連携協力に関する協定書の締結
 - ☑☑☑ (独)住宅金融支援機構との協調融資に関する協定の締結



信用金庫の日ボランティア活動



総代向け経営セミナー

- 7月
 - ☑☑☑ 本部組織の一部変更
 - ☑☑☑ 壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町各商工会との産業振興連携協力に関する協定書の締結
 - ☑☑☑ (株)日本信用情報機構(JICC)への加盟
 - ☑☑☑ 「目指せ一周+ギネス!ぐるっと洞爺湖マイムマイム」への役職員参加
 - ☑☑☑ 「日本赤十字社 金色有功章」の受章

- 8月
 - ☑☑☑ 「第40回伊達武者まつり」への役職員参加



伊達武者まつり

- 9月
 - ☑☑☑ (独)中小企業基盤整備機構北海道本部との業務連携・協力に関する覚書の締結
 - ☑☑☑ 第27回北海道ツーデーマーチへの役職員参加
 - ☑☑☑ 本店駐車場で献血の実施

- 10月
 - ☑☑☑ 「職域サポート制度」の開始
 - ☑☑☑ 当金庫、伊達商工会議所および壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町各商工会主催による「西胆振地域広域連携記念セミナー」の開催

- 11月
 - ☑☑☑ 「しんきんファミリーサポート定期積金」の発売
 - ☑☑☑ 「平成26年度<旅>友の会」の催行
 - ☑☑☑ ～歌舞伎鑑賞・日光東照宮参拝～
 - ☑☑☑ 「洞爺村国際彫刻ビエンナーレ特別展2014」への
 - ☑☑☑ 当金庫所有美術品の出展



西胆振地域広域連携記念セミナー

※詳しくは4頁をご覧ください。

「平成26年度だてしん半期ディスクロージャー誌」正誤表

「平成26年度だてしん半期ディスクロージャー誌」の記載に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。

【訂正内容】

P 1 損益の状況（平成26年9月期）

（単位：百万円）

	誤	正
経常利益	606	600
当期純利益	603	597

P 2 金融再生法開示債権および同債権に対する保全状況（平成26年9月末）

（単位：百万円）

区 分	保 全 率(%)		引 当 率(%)	
	誤	正	誤	正
要管理債権	83.08	83.12	25.11	25.31

P 3 自己資本の構成に関する事項（平成26年9月期）

（単位：百万円）

項 目	誤	正
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る 会員勘定の額	5,339	5,334
うち、利益剰余金の額	2,176	2,171
コア資本に係る基礎項目の額に算入される 引当金の合計額	183	188
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	183	188
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	5,523	5,522
自己資本		
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	5,517	5,516